

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮が発生いたしました。

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させる恐れがあるヘテロシグマ アカシオ（山口県の場合、注意報：5,000 細胞/mL、警報：10,000 細胞/mL）が最大で **5,300 細胞/mL** 確認されました。この種の赤潮水塊は、池島で確認されました。

また、ミリオネクタ ルブラが最大で 3,000 細胞/mL 確認されました。この種の赤潮水塊は、宿毛湾全域にパッチ状で確認されています。この種は、宿毛湾で魚類の被害を発生させていませんが、注意してください。

現在、魚類に有害なプランクトンが発生しておりますので、給餌などの作業については、十分注意してください。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータム及びアレキサンドリウム属が最大で 6 及び 156 細胞/ml 確認されました。

※（本日は、海水 1mL でプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (11:00～ 12:00) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存 酸素 (mg/L)	コクロディニウム	ヘテロシグマ	ギムノディニウム	アレキサンドリウ	ミリオネクタ
					ボリクリコイデス *1	アカシオ *1	カテナータム *3	ム属 *3	ルブラ
池島 下図①	0	-	-	-	0	5,300	0	28	18
片島出荷場 下図②	0	-	-	-	0	324	0	46	70
タテイシ 下図③	0	-	-	-	0	0	0	22	2,400
一切田と猩々礮 の間 下図④	0	-	-	-	0	0	0	32	2,700
	2	-	-	-	0	0	6	65	1,700
大島 下図⑤	0	-	-	-	0	0	0	156	3,000

\*1：魚類を死滅させる恐れがある種

\*2：魚類を弱らせる可能性がある種

\*3：麻痺性貝毒の原因種

ヘテロシグマ  
アカシオの赤潮水塊

